

ベルーフニュース vol.47

発行日：2024年10月10日

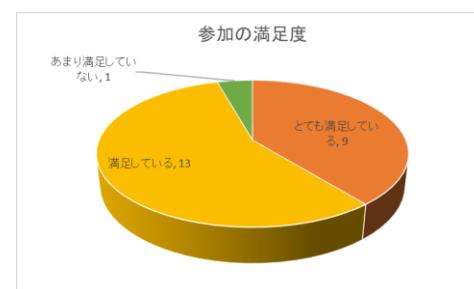
♪総合説明会2024のご報告

今夏も、通算7回目となる「ベルーフ総合説明会」を開催致しました。ベルーフのこれまで10年の歩みと実績を広く社会へ届ける第一歩として、IT専門職雇用の実態を学んで頂く『シンポジウム』と、日本の障害者雇用の長きにわたる課題を問題提起する『政策提言』、そして各自の事業所での取り組みを発表する『成果発表会』の3部構成での開催に、8名の研修生がプロジェクトチームを組んで挑戦しました。

『シンポジウム』には、当事業所と共に障害者雇用に取り組んできた企業2社が登壇し、自社の取組みを発表して頂きました。参加した企業からは、「他社の事例をこれほど具体的で詳細に聴ける機会はなく、面白く興味深く、また自社の今後の雇用推進に大変勉強になった」という声や、支援機関・大学関係者からは「企業が、障害者雇用について、どれほど真摯に考えているのかがよく分かった」などの感想をお寄せ頂きました。

『政策提言』では、日本の障害者雇用政策が目指している障害者の自立と、現在の実態について整理し問題提起したところ、「自社のことで精一杯で、そこまで考えが及ばなかった」「多角的な視点を持つためにも、こうした勉強は継続的に必要だと感じた」などの感想が寄せられました。シンポジウムと政策提言は、ウェビナーによるオンライン配信も同時に開催され、関東圏以外の地域からや、支援機関・精神科クリニック・Webページを見た個人など多方面から参加され、それぞれご満足頂けたようです。

『成果発表会』は、セキュリティの観点から現地のみでの開催となりましたが、60分間の時間をフルに使い、研修生と企業が密に対話する事が出来ました。その交流から、現在複数の実習、選考のお話しが進行しています。



開業10年の節目に、社会への役立ちをより大きなものとする方向へと舵を切ったベルーフです。今後も新たな挑戦を重ね、その情報を発することで、皆様と共に、障害者雇用のさらなる発展に取り組んで行きたいと考えております。

参加理由

ベルーフの事について知りたい	12
ベルーフの研修生について知りたい、研修生の成果や仕事ぶりを見たい	12
政策提言に興味があったから	3
シンポジウムのテーマである「障害者雇用」に興味があったから	16

♪企業ネットワーク拡大中

法定雇用率が上昇している昨今、企業からのお問い合わせが増えています。ベルーフに相談に来られる企業には、具体的な雇用を想定している企業もあれば、何から手をつけて良いのか分からず、という企業もあります。いずれの場合も、ベルーフの障害者雇用の考え方と具体的な取り組みを紹介するのですが、最も驚かれるのは就労後の定着率です。2019年4月以後に就労した24名のうち離職に至ったのは1名で、最長5年半、最短でも7ヶ月間就労を継続しています。

離職は、障害者本人にとってもまた企業にとっても、大きな損失です。ベルーフがお手本とするドイツには、障害者の離職を防ぐ制度や支援策が整っていますが、残念ながら日本では企業と障害者本人の努力にかかるており、企業にとって身近な相談相手がないということも、障害者雇用に不安を抱える一因なのかもしれません。

ベルーフの企業ネットワークは、選考前の段階から雇用後の継続にわたり、障害者と企業双方をサポートするもので、「提携書」を取り交わし、障害者雇用推進に共に取り組む連帯のネットワークです。先のシンポジウムもこの構想から生まれた内容で、今後は同様の学び合いイベントなど、お役に立てる機会を増やして行きたいと考えています。

就労移行支援事業所ベルーフ

東京都指定障害福祉サービス事業所 1310500739

〒112-0002 東京都文京区小石川5-4-1 瑞穂ビル9階

TEL 03-5803-2424 E-mail info@beruf.jp

Web <https://beruf.jp/> Twitter @tw_beruf11